* * * *

ジャバから記載された *Syrrhopodon treubii* Fleisch. は邦産のカタシロゴケ *S. japonicus* (Besch.) Broth. の異名とされるべきものである。日本と台湾に固有と考えられていた本種の産地として，今回新たにフイリピン，ボルネオ，ジャバ，スマトラ，マラヤ，北ベトナムを追加した。インドから記載された *S. gardneri* (Hook.) Schwaegr. はカタシロゴケと近縁で，熱帯地方ではしばしば同一地域に産するが，葉細胞や仮根で両者は容易に区別できる。屋久島から記載された *Calymperes hasegawae* (Tak. et Iwats.) Iwats. はボルネオの *C. johannis-winkleri* Broth. の変種とするのが適当である。この変種は今回新たに香港，フイリピン及びタイからも見出された。

○地衣類思い出話 (13) (富樫 誠) Makoto TOGASHI: Miscellaneous notes on lichens or lichenological survey (13)

昭和 29 年 (1954) 信州上田市の西北一里許の所で，虚空蔵山が千曲川原へ山裾を突入する地点の岩壁で，*Heppia Guepinii* (Del.) Nyl. subsp. *shinanoana* Asahina を見付け良好な標本多数を採集したが，これは葉体外形がよく整った *Heppia* 中の逸品で，本州中部以西によく出るクロヘップゴケ *Heppia japonica* Asahina などよりも遙に立派である (本誌 **10**: 682, 1934)。何にしても東亜の *Heppia* 属は研究不十分で，もっと沢山の標本を集める必要がある。

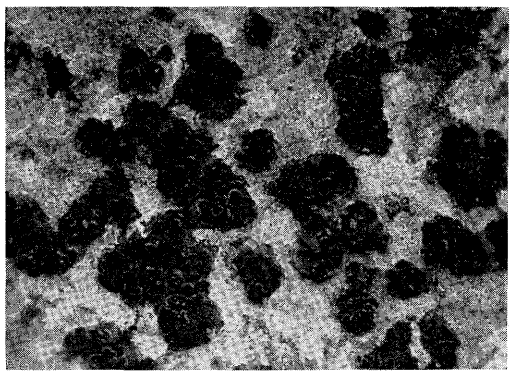

Fig. 1. *Heppia Guepinii* (Del.) Nyl. subsp. *shinanoana* Asahina.